


タイトル	住宅及び住環境への意識に関するアンケート
概要	<p>市民の住宅に対する意識及びどのような住まい・住生活を望んでいるのかというニーズを把握するためのアンケートです。</p> <p>また、今年度は地域研究助成金事業(大学等が行う東大阪市の地域に関連する研究活動等に助成する事業)を活用し、若年・子育て世帯に本市を居住地として選んでもらうことを目標とした住宅及び住環境に関する研究を近畿大学建築学部の池尻隆史研究室が行っています。この研究にご協力いただける数名の方に、池尻研究室より研究内容に関するインタビューをさせていただきたいと考えております。これに関しては、問32にてご回答をお願いいたします。</p>

対象者数:299人 回答者数:220 回答率:73.6%

1. 会員番号を入力してください。
(会員番号はメール本文に記載しています)(必須。4文字以内。半角英数(記号))


2. 性別を教えてください。(必須)

回答	選択人数	%	
男性	85人	38.6%	女性 61.4%
女性	135人	61.4%	男性 38.6%




3. 年齢を教えてください。(必須)

回答	選択人数	%	
10代	1人	0.5%	40代 25.9%
20代	21人	9.5%	30代 23.2%
30代	51人	23.2%	60代以上 21.4%
40代	57人	25.9%	50代 19.5%
50代	43人	19.5%	20代 9.5%
60代以上	47人	21.4%	10代 0.5%



4. 世帯構成を教えてください。(必須)

回答	選択人数	%	
単身	14人	6.4%	二世世代家族 57.3%
夫婦のみ	65人	29.5%	夫婦のみ 29.5%
二世世代家族	126人	57.3%	単身 6.4%
三世世代家族	3人	1.4%	その他 5.5%
その他	12人	5.5%	三世世代家族 1.4%



5. 住居形態を教えてください。(必須)			
回答	選択人数	%	
一戸建て住宅持家	130人	59.1%	一戸建て住宅持家 59.1%
一戸建て住宅借家	11人	5.0%	共同住宅持家 22.7%
共同住宅持家	50人	22.7%	共同住宅借家 12.7%
共同住宅借家	28人	12.7%	一戸建て住宅借家 5.0%
その他	1人	0.5%	その他 0.5%


6. 居住地域を教えてください。(必須)			
(参考資料1「東大阪地域マップ」をご参照ください)			
回答	選択人数	%	上位5項目のみ色分け表記
A地域(日下リージョンセンター管内)	27人	12.3%	
B地域(四条リージョンセンター管内)	29人	13.2%	
C地域(中鴻池リージョンセンター管内)	32人	14.5%	
D地域(若江岩田駅前リージョンセンター管内)	39人	17.7%	
E地域(楠根リージョンセンター管内)	20人	9.1%	
F地域(布施駅前リージョンセンター管内)	44人	20.0%	F地域(布施駅前リージョンセンター管内) 20.0%
G地域(近江堂リージョンセンター管内)	21人	9.5%	D地域(若江岩田駅前リージョンセンター管内) 17.7%
分からない	8人	3.6%	C地域(中鴻池リージョンセンター管内) 14.5%
			B地域(四条リージョンセンター管内) 13.2%
			A地域(日下リージョンセンター管内) 12.3%
			上記以外の回答 22.3%

7. 居住年数を教えてください。(必須)			
回答	選択人数	%	
1年未満	6人	2.7%	11年～20年 25.0%
1～5年	43人	19.5%	6年～10年 21.4%
6～10年	47人	21.4%	1～5年 19.5%
11年～20年	55人	25.0%	31年以上 16.4%
21年～30年	33人	15.0%	21年～30年 15.0%
31年以上	36人	16.4%	1年未満 2.7%

8. 定住意向を教えてください。(必須)

回答	選択人数	%
今の場所に住み続けたい	152人	69.1%
市内で住み替えたい	27人	12.3%
市外に転出したい	19人	8.6%
わからない	22人	10.0%

今の場所に住み続けたい 69.1%
市内で住み替えたい 12.3%
わからない 10.0%
市外に転出したい 8.6%




「今の場所に住み続けたい」、「市内で住み替えたい」という回答が全体の8割を超えており、本市での定住意向は高いことがわかります。

9. 問8で「今の場所に住み続けたい」と回答された方に質問です。

住み続けたい理由を教えてください。(複数回答可) (3個以内)

回答	選択人数	%
地元だから、または昔から住んでいるから	66人	18.6%
都心に近いから	15人	4.2%
交通利便性が良いから	81人	22.9%
職場・学校までの通勤・通学の利便性が高いから	29人	8.2%
自然・公園等の周辺環境が良い、または歴史・文化施設が充実しているから	16人	4.5%
祭りなどの地域行事が盛んだから	11人	3.1%
スーパーや商店街などの日常の買い物施設が充実しているから	63人	17.8%
人工衛星が作れるなど全国に誇れるモノづくりのまちであるから	1人	0.3%
子育てしやすい環境だから	6人	1.7%
4大学を有するなど教育環境が良いから	0人	0.0%
病院等の施設が充実しているから	15人	4.2%
高齢者が安心して暮らせる環境が整っているから	3人	0.8%
家族と同居している、または実家から近いから	37人	10.5%
その他	11人	3.1%
未回答	0人	0.0%

上位5項目のみ色分け表記



交通利便性が良いから 22.9%
地元だから、または昔から住んでいるから 18.6%
スーパーや商店街などの日常の買い物施設が充実しているから 17.8%
家族と同居している、または実家から近いから 10.5%
職場・学校までの通勤・通学の利便性が高いから 8.2%
上記以外の回答 22.0%

「今の場所に住み続けたい」と回答された152人中、半数以上の方が「交通利便性が良いから」と回答され、「スーパーや商店街などの日常の買い物施設が充実しているから」と続いており、本市で居住する上での利便性の高さが読み取れます。

10. 問9で「その他」と回答された方に質問です。具体的な内容を教えてください。(40文字以内)
回答(一部抜粋)
回答数:11
近所付き合いが良好で、助け合える環境だから。
自宅を購入したばかりなので。
この地に家を建てましたときから、終の棲家と考えています。
転居する経済的な余裕がない。

11. 問8で「市内で住み替えたい」と回答された方に質問です。住み替えたい理由を教えてください。(複数回答可)(3個以内)			
回答	選択人数	%	上位5項目のみ色分け表記
交通利便性が悪いから	5人	8.5%	
周辺環境が悪いから	3人	5.1%	
今の家は狭いから、または間取りが悪いから	9人	15.3%	
今の家では広すぎるから	0人	0.0%	
耐震性など、建物が心配だから	2人	3.4%	
持ち家がほしいから	3人	5.1%	
一戸建てに住みたいから	4人	6.8%	
自分の好みの空間がほしいから	4人	6.8%	
職場・学校までの通勤・通学が不便だから	5人	8.5%	
スーパーや商店街などの日常の買い物の利便性が低いから	5人	8.5%	
子育てしにくい環境だから	2人	3.4%	
医療・福祉施設が少ないから	1人	1.7%	
祭りなどの地域行事が面倒だから	3人	5.1%	
家族と同居するため、または近くに住むため	6人	10.2%	
家賃が高いから	2人	3.4%	
その他	4人	6.8%	
未回答	1人	1.7%	

「市内で住み替えたい」と回答された27人中、3割以上の方が「今の家は狭いから、または間取りが悪いから」と回答されており、理想とする住居に住まれていることが読み取れます。

12. 問11で「その他」と回答された方に質問です。具体的な内容を教えてください。(40文字以内)
回答(一部抜粋) 回答数: 4
聖地の花園に在住していますが山手の自然環境にも憧れています。

13. 問8で「市外に転出したい」と回答された方に質問です。
転出したい理由を教えてください。(複数回答可)(3個以内)

回答	選択人数	%	上位5項目のみ色分け表記	
交通利便性が悪いから	2人	4.7%		
周辺環境が悪いから	4人	9.3%		
今の家は狭いから、または間取りが悪いから	3人	7.0%		
今の家では広すぎるから	1人	2.3%		
耐震性など、建物が心配だから	2人	4.7%		
持ち家がほしいから	1人	2.3%		
一戸建てに住みたいから	2人	4.7%		
自分の好みの空間がほしいから	1人	2.3%		
職場・学校までの通勤・通学が不便だから	3人	7.0%		
スーパーや商店街などの日常の買い物の利便性が低いから	3人	7.0%		■ その他11.6%
子育てしにくい環境だから	4人	9.3%		■ 周辺環境が悪いから 9.3%
医療・福祉施設が少ないから	1人	2.3%		■ 子育てしにくい環境だから 9.3%
祭りなどの地域行事が面倒だから	1人	2.3%		■ 治安が悪いから 9.3%
家族と同居するため、または近くに住むため	0人	0.0%		■ 今の家は狭いから、または間取りが悪いから 7.0%
家賃が高いから	0人	0.0%		■ 上記以外の回答 53.5%
東大阪市に愛着がないから	3人	7.0%		
治安が悪いから	4人	9.3%		
都心から遠いから	0人	0.0%		
自然・公園等の周辺環境が悪い、または歴史・文化施設が少ないから	3人	7.0%		
その他	5人	11.6%		
未回答	0人	0.0%		

「市外に転出したい」と回答された19人のうち、2割以上の方が「周辺環境が悪いから」、「子育てしにくい環境だから」、「治安が悪いから」と回答されており、現在の住環境に満足されていないことがうかがえます。

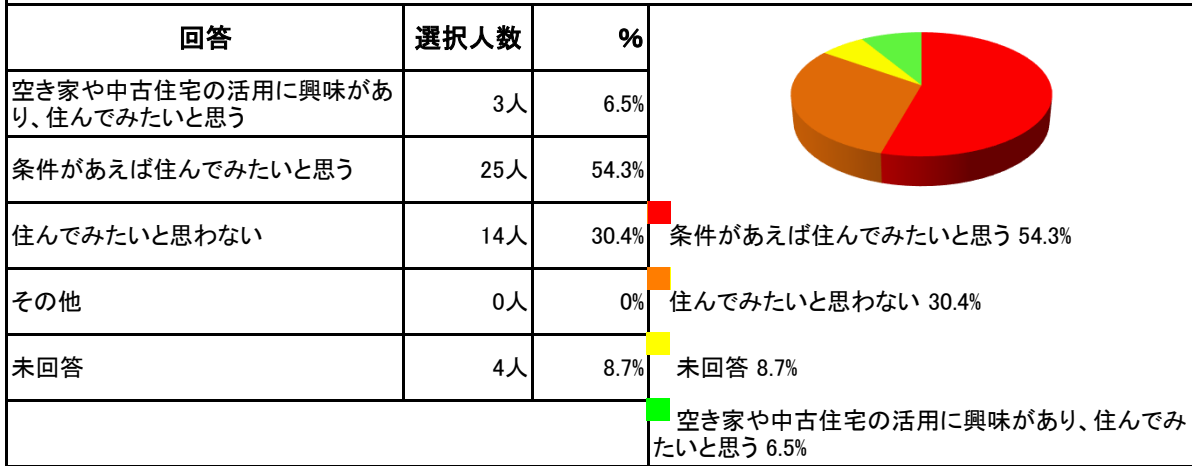
回答数:5

実家の近くに住みたい。

中学校の学力が低いから高い学区に引越したい。

15. 問8で「市内で住み替えたい」・「市外に転出したい」と回答された方に質問です。

空き家や中古住宅をリフォームして住んでみたいと思いますか。



「市内で住み替えたい」・「市外に転出したい」と回答された46人中、半数以上が「条件があれば住んでみたいと思う」と回答されました。

16. 問15で「その他」と回答された方に質問です。具体的な内容を教えてください。(40文字以内)

回答なし

回答数:0

17. 問15で「住んでみたいと思わない」と回答された方に質問です。

住んでみたいと思わない理由を教えてください。(複数回答可) (3個以内)

回答	選択人数	%	
新築住宅にこだわりがあるから	6人	16.2%	上位5項目のみ色分け表記
耐震性が心配だから	9人	24.3%	
断熱性が良くないなど性能が低いから	1人	2.7%	
キッチン・水回り等の設備が古いから	1人	2.7%	
思い通りの間取りではないから	2人	5.4%	
住んでから欠陥が見つかるかもしれないという不安があるから	6人	16.2%	
リフォーム・メンテナンス費用がかかるから	3人	8.1%	
リフォーム・メンテナンスの方法等がわからないから	0人	0.0%	
既存のコミュニティに溶け込めるかが心配だから	0人	0.0%	
第三者の客観的な評価がないから	2人	5.4%	
良質な住宅かどうかを自分で判断できないから	6人	16.2%	
その他	1人	2.7%	
未回答	0人	0.0%	

「耐震性が心配だから」に次いで、「新築住宅にこだわりがあるから」、「住んでから欠陥が見つかるかもしれないという不安があるから」、「良質な住宅かどうかを自分で判断できないから」が同数で続いています。

18. 問17で「その他」と回答された方に質問です。具体的な内容を教えてください。(40文字以内)

回答(一部抜粋)

回答数: 1

前に住んでいた人が気になるから。

19. 東大阪市を誰もが自分らしく暮らせるまちにするために、住環境の面から、市が力を入れるべき取り組みは何だと思いますか。(複数回答可) (必須。3個以内)

回答	選択人数	%	上位5項目のみ色分け表記
若者・子育て世帯が安心して暮らせる住生活の実現	134人	23.6%	
高齢者や障害者が自立して暮らすことができる住生活の実現	87人	15.3%	
多様なライフスタイルやライフステージに応じた暮らしが選べる住環境の実現	61人	10.7%	
地震や災害時に危険な密集住宅地の改善による、安全・安心な住環境の実現	85人	14.9%	
良質な空き家の活用や老朽空き家の解体を進めることによる、安全・安心な住環境の実現	60人	10.5%	
CO2削減など、地球環境に優しいエコな住生活の実現	10人	1.8%	若者・子育て世帯が安心して暮らせる住生活の実現 23.6%
緑や水辺などの自然が豊かな住環境の実現	73人	12.8%	高齢者や障害者が自立して暮らすことができる住生活の実現 15.3%
良質な民間住宅の整備や良好な景観づくりによる、まちの魅力向上	33人	5.8%	地震や災害時に危険な密集住宅地の改善による、安全・安心な住環境の実現 14.9%
住民が主体となって運営する地域まちづくり組織への支援	17人	3.0%	緑や水辺などの自然が豊かな住環境の実現 12.8%
その他(財政的な支援を除く)	9人	1.6%	多様なライフスタイルやライフステージに応じた暮らしが選べる住環境の実現 10.7%
			上記以外の回答 22.7%

「若者・子育て世帯が安心して暮らせる住生活の実現」、「高齢者や障害者が自立して暮らすことができる住生活の実現」、「地震や災害時に危険な密集住宅地の改善による、安全・安心な住環境の実現」の順となっています。

20. 問19で「その他(財政的な支援を除く)」と回答された方に質問です。具体的な内容を教えてください。(40文字以内)

回答(一部抜粋)
回答数: 9
外国人が不自由なく暮らせる住環境の提供。
学力のある学校を作る。
夜も安心して帰宅出来るように道路の整備と街灯を増やすこと。

21. 若者・子育て世帯に東大阪市を選び住んでもらうために、住環境の面から、市が力を入れるべき取組みは何だと思いますか。(必須。2個以内)

回答	選択人数	%	上位5項目のみ色分け表記
多様な暮らしを選びやすくするための、リフォームの活性化などによる良質な空き家や中古住宅の活用の促進	66人	17.5%	
入居を拒まれない賃貸住宅の充実	14人	3.7%	
低家賃で暮らせるシェアハウス、賃貸物件の充実	31人	8.2%	
ライフステージに応じて自分らしく暮らすための住まいの情報の充実	46人	12.2%	
空き家等の活用や子育て世帯向けの賃貸住宅など、子育て世帯の経済的負担などが軽減される住宅の充実	87人	23.0%	
若者や子育て世帯向けの、住宅や暮らしをとりまく環境の整備や情報の発信	127人	33.6%	若者や子育て世帯向けの、住宅や暮らしをとりまく環境の整備や情報の発信 33.6%
その他(財政的な支援を除く)	7人	1.9%	空き家等の活用や子育て世帯向けの賃貸住宅など、子育て世帯の経済的負担などが軽減される住宅の充実 23.0%
			多様な暮らしを選びやすくするための、リフォームの活性化などによる良質な空き家や中古住宅の活用の促進 17.5%
			ライフステージに応じて自分らしく暮らすための住まいの情報の充実 12.2%
			低家賃で暮らせるシェアハウス、賃貸物件の充実 8.2%
			上記以外の回答 5.6%

「若者や子育て世帯向けの、住宅や暮らしをとりまく環境の整備や情報の発信」、「空き家等の活用や子育て世帯向けの賃貸住宅など、子育て世帯の経済的負担などが軽減される住宅の充実」の順となっています。


22. 問21で「その他(財政的な支援を除く)」と回答された方に質問です。具体的な内容を教えてください。(40文字以内)

回答(一部抜粋)
回答数: 7
魅力的な商業施設などの誘致。
東大阪市のイメージを変える。柄が悪い、そんな所で子育てしてるのと思われがち。


23. 高齢者の住まいである「高齢者向け優良賃貸住宅」や「サービス付き高齢者向け住宅」を知っていますか。(必須)

回答	選択人数	%	
知っている	123人	55.9%	
知らない	50人	22.7%	
聞いたことはある	47人	21.4%	


24. 市が、耐震性・劣化対策等の基準を満たし、将来の維持管理計画を立てることで長年にわたって良好な状態で使用できる「長期優良住宅」の普及を進めていることを知っていますか。(必須)

回答	選択人数	%	
知っている	33人	15.0%	
知らない	159人	72.3%	
聞いたことはある	28人	12.7%	


25. 大阪府が、高齢者や障害者・子育て世帯等の入居を拒まない民間の「あんぜん・あんしん賃貸住宅」の情報提供や居住支援を行っていることを知っていますか。(必須)

回答	選択人数	%	
知っている	14人	6.4%	
知らない	193人	87.7%	
聞いたことはある	13人	5.9%	


26. 分譲マンション管理組合の方を対象に、修繕・改修・建替え・管理・敷地売却のサポートをする「大阪府分譲マンション管理・建替えサポートシステム推進協議会」があることを知っていますか。(必須)

回答	選択人数	%	
知っている	7人	3.2%	
知らない	203人	92.3%	
聞いたことはある	10人	4.5%	

27. 国が今、空き家をはじめとする中古住宅の流通やリフォーム市場の活性化を、住宅政策の大きな課題としていることを知っていますか。(必須)

回答	選択人数	%	
知っている	81人	36.8%	
知らない	95人	43.2%	
聞いたことはある	44人	20.0%	

28. 大阪府が、府民が安心して住宅リフォームを行うことができるよう、信頼性の高い事業者の情報提供を行う「大阪府住宅リフォームマイスター制度」を行っていることを知っていますか(必須)

回答	選択人数	%	
知っている	10人	4.5%	
知らない	200人	90.9%	
聞いたことはある	10人	4.5%	

29. 問23から問28までの住宅施策や、その他の全体的な住宅施策の認知度を高めるためには、今後どのような方法で住宅に関する情報を発信するのが有効だと思いますか。(複数回答可)(必須。3個以内)

回答	選択人数	%	上位5項目のみ色分け表記
市政だより・新聞・住宅雑誌等への掲載	172人	31.3%	<p>市政だより・新聞・住宅雑誌等への掲載 31.3%</p> <p>スーパー・コンビニ・金融機関などの生活施設にパンフレットを設置 14.6%</p> <p>商業施設などにおけるPRイベントの開催 11.5%</p> <p>よりわかりやすくウェブサイトに掲載 10.2%</p> <p>自治会やマンションの管理組合等への資料郵送 9.3%</p> <p>上記以外の回答 23.1%</p>
よりわかりやすくウェブサイトに掲載	56人	10.2%	
東大阪ケーブルテレビでのPR	23人	4.2%	
商業施設などにおけるPRイベントの開催	63人	11.5%	
スーパー・コンビニ・金融機関などの生活施設にパンフレットを設置	80人	14.6%	
不動産会社や住宅販売会社などの住宅関連業者の店舗にパンフレットを設置	23人	4.2%	
自治会やマンションの管理組合等への資料郵送	51人	9.3%	
FacebookやTwitterなどのSNSの活用	44人	8.0%	
YouTubeなどによる動画配信	11人	2.0%	
登録制のメールやLINEの配信	22人	4.0%	
その他	4人	0.7%	

全回答者数220人のうち、約8割にあたる172の方が「市政だより・新聞・住宅雑誌等への掲載」が住宅施策の認知度を高めるのに有効と回答されており、積極的に取り組んでいく必要があると思われます。

30. 問29で「その他」と回答された方に質問です。具体的な内容を教えてください。(40文字以内)

回答(一部抜粋)

回答数:4

リージョンセンターや図書館などの公共施設内の一角にコーナーを設ける。

興味関心を持つ人たちが集まる場所への出前講。

31.「住宅及び住環境への意識」についてご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。(1000文字以内)

回答(一部抜粋)

回答数:81

子育てがしやすい環境にしてほしい。

東大阪市にも、住まれていない家等が沢山あるのかは分かりませんが、あるのなら、防犯などの面から考えても、どんどん利用してもらおう方がいいと思います。

住環境の施策が色々あるのに、自分がほとんど知らないことに気づいた。市政だより、東大阪ケーブルテレビはかなり頻りにみているのですが。特に市政だよりは、各家に配布していただけるので、見る人が多いと思う。是非詳しく施策を載せてほしいです。災害の頻発であちこちに崩れかけた空き家があるのが気になります。沢山の空き家を有効活用していただきたいです。

マンション等集合住宅の高齢者世帯比率の増加による諸問題の把握と対策が必要になっているように感じています。

最近、空き家が非常に増加しており、放火などの事件も発生しています。できるだけ早く所有者・相続人に連絡し、取り壊しなどの処理を進めてほしいと思います。また、東大阪市は、交通の便が良くなっているので、市も何らかの情報提供を行い、空き地を活用できるようにしてください。

最近、地震、雨とか台風で怖い目にあいましたが、住宅の耐久性がわからないので、知りたい。

公の施設(図書館や運動施設など)利用しやすい位置にあればいいと思う。


私の子育ての経験から感じたことですが住んでいる地域に子育て支援センター、公園、図書館があれば子育てしやすく、若年層の子育て世代も住みやすくなると思います。

住み続けて30年、周りの環境も高齢者が多くなり立て替えも難しくなっている現実があり、火災等起きる心配が日々多くなっています。皆が安心して暮らせる住宅の促進を進める意識付け等を市が積極的に行なって欲しいです。

ひとり親 高齢者(独居)(夫婦)子育て 共働き 等々いろいろな環境の人たちが各々集まれるサロンなど、各地域でたくさんできると、安心できる町作りになると思います。

32. 冒頭のアンケート概要に記載のとおり、インタビューにご協力いただけますでしょうか。なお、「協力できる」を選択された方のお名前及びメールアドレスは住宅政策室及び池尻研究室に提供され、池尻研究室からご連絡させていただくこともございます。※すべての方にご連絡及び直接のインタビューをさせていただくわけではございませんのでご了承ください。個人情報インタビューの実施以外の目的で一切使用いたしません。

回答	選択人数	%
協力できる	80人	36.4%
協力できない	140人	63.6%



【総括】

本市での定住意向は高く、理由としては「交通利便性が良い」などがあげられています。一方、転出したいと回答された方のうち「周辺環境や子育て、治安に不安がある」と回答された方が多いという結果となりました。市が力を入れるべき取組みとしても、「若者・子育て世帯が安心して暮らせる住生活の実現」でした。また、現在行われている住宅施策についての認知度は総合的に低いですが、その中でも空家や中古住宅に関する認知度は高めであることがわかりました。

今後、若者や子育て世帯が、安心して充実した暮らしを実現できるような住宅施策を検討し、住宅に関する情報発信を市民の方々へ届くよう、よりわかりやすく行っていく必要があると考えます。

※「%」は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値に+-0.1%~0.3%の誤差が生じる場合があります。